

# 「自殺者もでている建設労働者・職人の生活を守ってほしい」幸山市長へ要請

長引く不況のもと、相次ぐ倒産など深刻な影響を受けている建設業界。こうしたなか、5月14日、熊本県建設労働組合は、幸山市長に対して、建設業の振興、労働者・職人の危機打開を求め要請を行いました。

「仕事が激減し、生活ができない」「子どもを高校に行かせることができない」「自殺ということも…」など深刻な実態が伝えられました。

市からは建築部長をはじめ、施設課、契約検査室、商業労政課等が対応。要請には、日本共産党熊本市議団も参加しました。要望をしっかりと受け止めて、実現のために全力で頑張ります。



## 【住宅リフォーム助成制度を実施し建設業界の振興を】

- 公共施設や住宅などの耐震化の促進、住宅等への耐震化の助成制度の周知徹底をおこない、安心安全の住環境整備と建設業者の仕事の確保を。

- 幅広い職種の業者・職人が対象となるリフォーム助成制度の実施を。

### 「住宅リフォーム助成制度」とは？

住宅等のリフォーム工事を市内の業者に発注する場合において、経費の一部を市が補助する制度。実施している自治体では、予算の20倍ほどの発注が業者の仕事につながり、市民にも業者にも喜ばれ、地域経済の活性化につながっています。

## 日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 709

2010年5月23日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：http://www.jcp-kumamoto.com/

## 【小規模事業修繕制度の上限を

## 30万円から50万円へ引き上げを】

- 小規模修繕登録制度の上限金額を八代市が拡充したように、30万円から50万円に引き上げること。また、修繕だけでなく、工事も対象とすること。

### 「小規模修繕登録制度」とは？

市が発注する小規模な(30万円以下)修繕について希望する業者に登録していただき、発注します。これまでの要請や市の取り組みにより、09年度は件数、金額とも大きく増加し、業者に喜ばれています。

|       | 発注件数 | 発注金額   |
|-------|------|--------|
| 05年度  | 80   | 555万円  |
| 06年度  | 165  | 1026万円 |
| 07年度  | 142  | 1469万円 |
| 08年度  | 171  | 1289万円 |
| 09年度※ | 1220 | 5073万円 |

※決算見込み

## 【公契約条例を制定し、生活保護を下回る現場労働者の賃金の改善を】

- 安くたたかれた下請け単価での仕事をせざるを得ず、生活保護水準を下回る賃金水準で働いている労働者もいることから、市として公契約条例を制定し、現場労働者の賃金を改善してほしい。

- 建設業退職金制度を周知徹底し、証紙の貼付をチェック・指導すること。

### 「公契約条例」とは？

千葉県野田市では、市が発注する公共工事や委託業務に従事する労働者の賃金水準を守るため、最低賃金を市が独自に設定する条例を制定。

市が定める賃金が支払われない場合は契約を解除でき、事業者名を公表するとともに、市に損害が生じた場合、損害賠償を求める等が規定されています。

現場からの切実な訴えに対して、執行部からも誠実な答弁が行われました。小規模修繕登録制度の実績が進んだこと、昨年に続き住宅デーへの市としての後援を行うこと、耐震診断・補強への助成制度のお知らせを協力して進めていくことなどが確認されました。その他の課題についても、地元建設業界の仕事と生活を守る立場での取り組みが求められます。

# 国民健康保険 最高限度額「4万円」引上げ 高額所得者でない人にも負担増押し付け

## 3500 世帯が、総額 1 億 2000 万円の負担増

・・・ 臨時議会で、上野みえこ議員が反対討論 ・・・

### 対象は、高額所得者でない

最高限度額の保険料が賦課されるのは、  
1人世帯で、年間所得 568 万円以上  
2人世帯で、 〃 530 万円以上  
3人世帯で、 〃 503 万円以上  
4人世帯で、 〃 476 万円以上  
5人世帯で、 〃 448 万円以上  
の世帯が対象です。

均等割によって、世帯人員が多いほど、保険料負担が大きくなります。

生活保護の基準生活費は、5 人世帯(大人 2 人・子ども 3 人)で年間約 370 万円(月 309,000 円)、医療・介護その他の扶助費も加えれば、実際にはもっと額は大きくなります。

国民健康保険の最高限度額が賦課されているのは、決して高額所得者ではありません。

### 事前の論議なく専決処分の報告

十分な審議が必要な問題なのに、委員会付託もない臨時議会で「専決処分の報告」での提案は、議会制民主主義に反します。

### 今でも高い保険料の引上げに

熊本市の国民健康保険は、県下の市町村、九州の主要都市と比べ、今でも高い水準です。高すぎる保険料が払えず、収納率は全国平均を大きく下回っています。

【収納率】 (2008 年度)

全国平均 88%

熊本市 85%

保険料引き上げは、ますます保険料を高くて払えないものにします。

### 他の健保と比べ、高い国保料

平均所得に占める保険料の割合は、協会けんぽの約 2 倍、組合保険の約 3 倍と、国民健康保険は、他の健康保険に比べ、保険料の負担が重い。 最高限度額の対象は、

協会けんぽ・年収 1452 万円

(ボーナス除く)

(保険料 年間 68 万円)

**\*5 人世帯でも**

国民健康保険・年間所得 448 万円

(保険料 年間 73 万円)

## 市民の声を全く反映しない「区割り・区役所位置」 議会も納得できません！

審議会答申どおりの「5 区」案による区割り・区役所位置に基づく補正予算が、5 月 15 日の臨時議会に提案されました。幸山市長が強行しようとする 5 区案押し付けに、開会が大幅に遅れ、提案された補正予算は、政令市特別委員会に付託され、会期が 5 月 29 日まで延長されました。

### 市民の声を市政に届けるのが、議会の一番の仕事です

市民の声を届けても、届けても、現行の 5 区案には何ひとつ反映されていません。委員会・本会議、議会が開催されるたびに市民の陳情は繰り返されています。「市役所を通り越していくような区役所では遠すぎる」など…。住民の当然の声です。市民の負託に応え、その声を精一杯反映させるのは議会の責務です。党派を超えて、「民意」を生かすために頑張ります。

【控室から】

緑輝く季節に…

上野 みえこ

花の季節も瞬く間に過ぎ、緑あざやかな季節になりました。燃え盛る新緑に、我が家の庭は、さながらジャングルのよう…。自然の生命力には圧倒されます。年度初めは、地域・学校・各団体、それぞれに新年度の会が相次ぎ、何かと忙しくなります。連日、何がしかの会が開かれ、集まった方々の熱心な論議が行なわれます。地域も、社会全体も、縁の下の方力持ちとして頑張っている方々によって支えられ、成り立っている面があります。ボランティア精神旺盛に、惜しみなく力を発揮されている皆さんには頭が下がります。

市議会も、政令市移行に向けての「区割り・区役所位置の決定」が急がれていることもあり、委員会・本会議と、慌ただしく開催されています。他の委員会でも、閉会中の審査が、種々の日程の合間を縫って開かれています。政令市移行、中心市街地活性化、医療・福祉の問題、どれも市政の重要な課題です。住民の声に耳を澄まし、「住民が主人公」の立場で、皆さまで一緒に、願いや声を市政に届けていきたいと思っています。自然の息吹に、パワーをもらって！